

奈良県立法隆寺国際高等学校 中期計画

対象期間		令和4年4月～令和7年3月
本校の使命（スクール・ミッション）		県立高等学校唯一のユネスコスクールとして、自ら学び、考え、実践できる次代の担い手となり、社会に貢献できる人間の育成
教育方針 （スクール・ポリシー）	入学者の受け入れに関する方針 （アドミッション・ポリシー）	本校では、以下のような生徒を積極的に受け入れます。 1 学びの楽しみや学びの意義を見つけ、生涯学びつづけようとする生徒 2 自他を敬愛し、未知なるものにチャレンジしようとする生徒 3 自分の進路や夢を実現し、社会に貢献しようとする生徒
	教育課程の編成及び実施に関する方針 （カリキュラム・ポリシー）	○基本方針 1 すべての教育活動における「基礎・基本」の徹底を図り、社会生活を営む上で必要な「知識」を身に付け、進路実現に必要な「学力」を習得し、「自分の力で生き、社会を支える力」をもった生徒の育成を行います。 2 「基礎・基本」の徹底のために、各教科・科目の「ねらい」を明確化し、基礎となるもの及び基本となるものを明らかにして、「学力」の向上を図ります。 3 各教科・科目の連携を図り、組織的・系統的な学習を行うとともに、学習内容や教材の精選に努め、指導方法の工夫を行い、効果的な学習指導を展開します。 4 学習環境を整備し、学業規律の確立に努めるとともに、計画的な学習習慣が身に付くように生活面の指導充実を図ります。 ○実現のための教育 1 すべての学科において、ICTを活用した学習の充実に努め、生徒の個性に適した学習指導の展開を図ります。 2 普通科においては、第2学年から生徒の進路希望に応じ、文型・理型の2類型と選択科目を設定します。 3 歴史文化科では、「教育課程特例校」として体験学習や臨地学習も取り入れた特色ある専門科目を設
	育成を目指す資質・能力に関する方針 （グアダエーション・ポリシー）	本校では、卒業までに、以下の資質・能力の育成を目指します。 1 学びの楽しみや学びの意義を見つけ、生涯学びつづけることができる。 2 自他を敬愛し、未知なるものにチャレンジできる。 3 自分の進路や夢を実現し、社会に貢献できる。

奈良県教育振興基本計画（「奈良の学び推進プラン」）が示す各テーマごとの学校教育目標

テーマ	学校の教育活動に関する目標	令和6年度末目標値等
1. こころと身体を子どもの成長に合わせてはぐくむ	体力の向上	新体力テストA判定生徒の割合15%以上
	望ましい運動習慣の確立	運動・スポーツを週3日以上実施する生徒の割合70%以上
	道徳教育の充実	自他を尊重し、多様性を受け入れられる生徒の割合100%
2. 学ぶ力、考える力、探究する力をはぐくむ	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善	生徒の授業満足度80%以上
	基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得	3年次、学習到達ゾーン(GTZ)C2以上の割合60%以上
	学習意欲の向上	授業時間外でICTを活用した学習時間平均、週2時間以上の生徒の割合80%以上
3. 働く意欲と働く力をはぐくむ	インターンシップの充実	インターンシップ(アカデミックインターンシップ等を含む)参加生徒の割合60%以上
	キャリア教育の推進	3年次、自分の将来の働いている姿を思い描ける生徒の割合70%以上
4. 地域と協働して活躍する人を育てる	コミュニティ・スクールの運営	地域活動(清掃活動等)に参加する生徒の割合50%以上
	郷土の伝統、文化、歴史等に関する学習の推進	郷土の伝統、文化、歴史等に興味をもつ生徒の割合60%以上
	グローバルマインドの育成や外国語教育の推進	異なる文化的背景をもつ仲間と情報交換し、課題解決に向けて協働できる生徒の割合60%以上
5. 地域で個性が輝く環境と仕組みをつくる	人としての営みの中で必要な人権感覚・知識の涵養	生活の中で差別に気づき、自分の問題として捉えることができる生徒の割合100%
	学校いじめ防止基本方針に基づく取組の推進	いじめについて相談できる人がいる生徒の割合100%
	帰国生徒等一人一人に応じた日本語教育の実施	3年次、日本語能力試験(JLPT)N1取得率70%以上